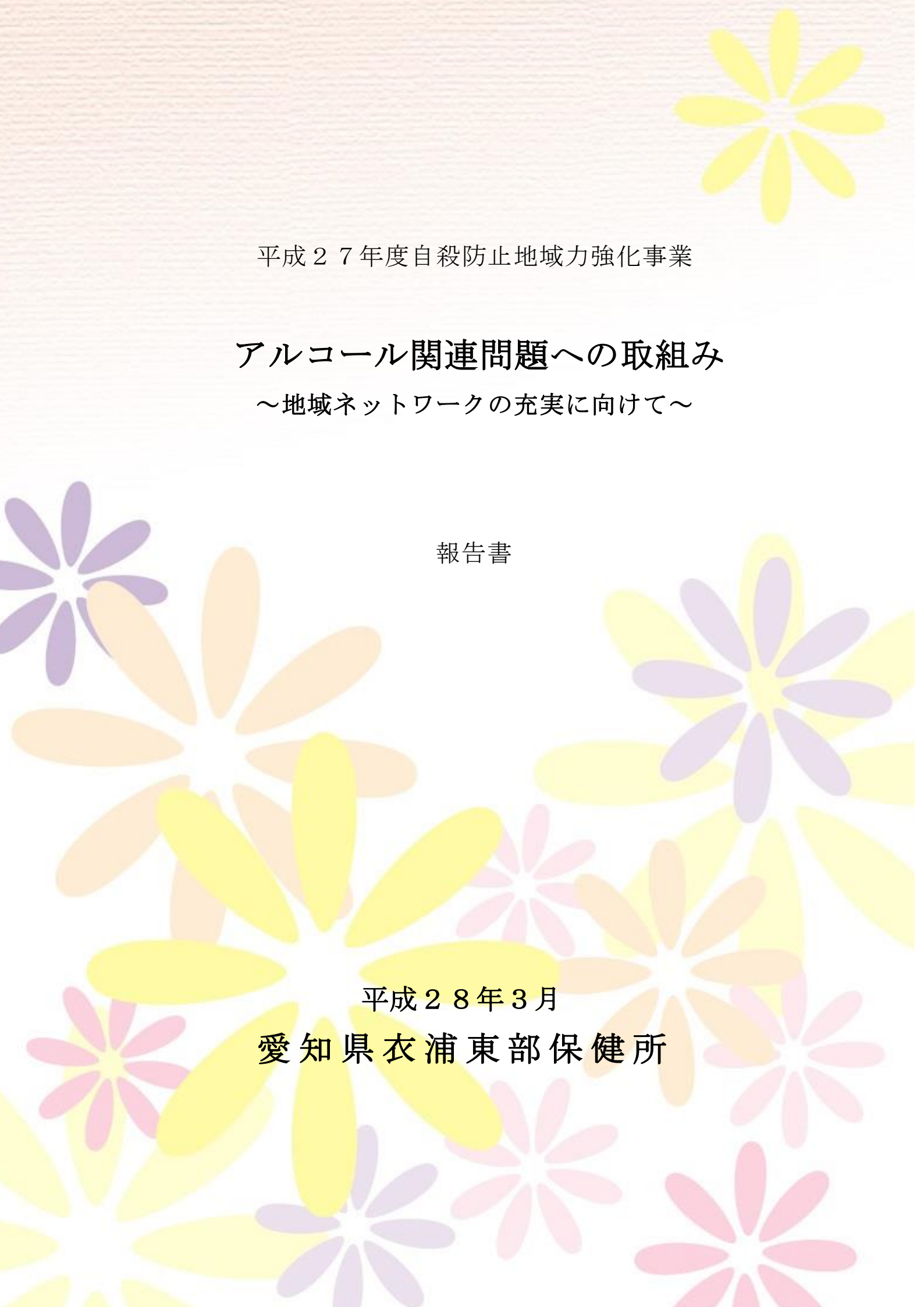


平成27年度自殺防止地域力強化事業

アルコール関連問題への取組み  
～地域ネットワークの充実に向けて～

報告書

平成28年3月  
愛知県衣浦東部保健所



## はじめに

衣浦東部保健所では、自殺対策として平成23年度より、自殺と関連の高いアルコール関連問題に焦点を当て、継続的に取り組んでいるところです。

国においては、平成26年6月に「アルコール健康障害対策基本法」が施行され、アルコール健康障害対策基本計画の策定が進められております。それに基づき、アルコール健康障害に関わる各機関には新たな取り組みが求められている現状です。

これまでに、アルコール関連問題の取り組みを通じて医療機関を始め各機関の関係者と連携強化を図りました。管内でのネットワーク体制が少しずつ進み、アルコール問題を抱える当事者、家族が専門医療機関につながりつつあります。

今年度は、各市の保健師と啓発部会を立ち上げ、予防の視点で啓発資材を作成し、推進会議の場で検討を行いました。参加機関した各機関で活用できるものと思えます。

このネットワークは、保健、医療、福祉関係者で構成されており、今後はアルコール関連問題に限らず、様々な地域の健康問題対策にも繋がっていけるものと考えております。

本事業において御協力いただいた関係者の皆様に感謝を申し上げますとともに、引き続き本事業に一層の御理解と御協力をお願いいたします。

平成28年3月

愛知県衣浦東部保健所長 服部 悟

## 目次

I	目的	1
II	経緯	1
III	管内各市の飲酒率	2
IV	実施内容と結果	
	1 関係者との会議の開催	4
	(1) 「自殺対策（アルコール健康障害対策）地域推進会議」の開催	
	(2) A R P病院との事務局会議の開催	
	2 困難事例検討会の開催	7
	3 相談技術研修会の開催	8
	4 啓発作業部会の開催	8
	5 普及啓発	9
	6 取り組みの発信	9
	7 相談対応状況	10
V	成果	11
VI	課題及び方向性	11
	資料1 自殺対策事業への関係機関参加状況	13
	資料2 アルコール関連問題連絡票	15
	資料3 啓発チラシ	16
	資料4 労働基準協会報 掲載記事	17
	資料5 新聞 掲載記事	18
	資料6 公衆衛生情報 掲載記事	19
	資料7 季刊Be! 掲載記事	21

## I 目的

アルコール関連問題は、自殺・うつと関連が深く、自殺防止の観点から重要な課題である。また、アルコール健康障害対策は生活習慣病（がん、循環器疾患、肝機能障害等）、飲酒運転、DV、失業等に対する対策と連携した取り組みが必要である。しかし、その取り組みはそれぞれ縦割りで実施されており、なかなか成果が見いだせないのが現状である。

そこで、自殺と関連のあるアルコール健康障害対策について、その対応方法を学ぶとともに、当地域における連携体制の構築を図り、もって自殺防止に対する地域力の向上を目指す。

## II 経緯

平成23年度：関係者と地域のアルコール関連問題の状況を共有する。

各関係機関が対応に苦慮している現状が確認でき、関係機関が、地域ネットワークの構築と推進が必要と共通認識をした。

平成24年度：アルコール依存症等の理解を深める。

アルコール関連問題研究会、相談技術研修、普及啓発活動を実施した。また、緊急現場におけるアルコール問題について、救急外来スタッフと消防本部の救急隊員を対象にアンケートを実施し実態把握をした。

平成25年度：具体的な連携方法を考える。

多機関連携マニュアル検討会議を開催し、マニュアルやアルコール関連問題連絡票についての検討を行い作成した。また、医師会員向けの研修会を開催した。

平成26年度：アルコール関連問題の理解を深め周知を図る。

「アルコール健康障害対策基本法」の施行に合わせ、啓発ポスターを作成した。管内救急病院を会場に関係機関と事例検討会を開催した。作成したマニュアルに保健機関、医師会の役割を追加し、相談を受けた機関がより専門の関係機関につなぐツールとして「つなぐカード」を作成し研究会の構成メンバーに配布した。

### アルコール関連問題の取り組み

ねらい	取り組み	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ネットワークの構築と充実	研究会の開催 (推進会議)	○	○	○	○
	マニュアル作成		○	○	
相談対応力の強化	事例検討会			○	○
家族相談技術の習得	相談技術研修の開催	○	○	○	○
予防に関する取り組み	普及啓発活動	○	○	○	○
個別支援	メンタルヘルス相談	○	○	○	○

### Ⅲ 管内各市の飲酒率

妊娠中の飲酒率は、平成26年度愛知県「母子保健報告」によると管内平均は愛知県と比較し低い。しかし、碧南市、高浜市、知立市においては前年度より減少したものの、依然愛知県と比較して高い。(表1、表2、図1)

特定健診時の飲酒率(毎日)は、愛知県が把握している各保険者の特定健診データ(平成24年度実施分)によると、男性は横ばいだが、女性は増加傾向にある。市においては、男女ともにみよし市が高い。また、特定健診時の多量飲酒率は、管内各市男女ともに碧南市男性を除いて高い。女性においては、全市が愛知県と比較し5倍以上と高値である。(表3から表6、図2から図5)

#### 衣浦東部保健所管内における妊娠届出時の飲酒率

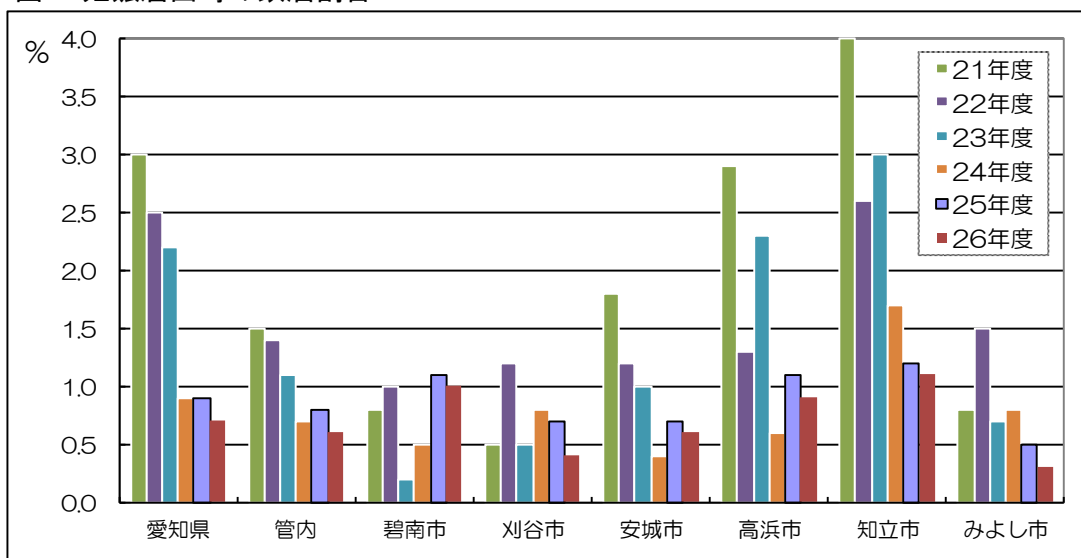
表1 妊娠届出時の飲酒者の年次推移 (人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
愛知県	1091	1000	848	345	417	329
管内	110	100	78	47	51	41
碧南市	6	7	1	3	7	6
刈谷市	10	23	10	14	12	8
安城市	39	27	23	8	14	13
高浜市	15	7	11	3	5	7
知立市	35	25	28	14	10	5
みよし市	5	11	5	5	3	2

表2 妊娠届出時の飲酒率の年次推移 (%)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
愛知県	3.0	2.5	2.2	0.9	0.9	0.7
管内	1.5	1.4	1.1	0.7	0.8	0.6
碧南市	0.8	1.0	0.2	0.5	1.1	1.0
刈谷市	0.5	1.2	0.5	0.8	0.7	0.4
安城市	1.8	1.2	1.0	0.4	0.7	0.6
高浜市	2.9	1.3	2.3	0.6	1.1	0.9
知立市	4.0	2.6	3.0	1.7	1.2	1.1
みよし市	0.8	1.5	0.7	0.8	0.5	0.3

図1 妊娠届出時の飲酒割合



特定健診時における飲酒率（40歳から74歳）

表3 特定健診時の飲酒率(毎日飲酒) 男性

	21年度	22年度	23年度	24年度 (%)
碧南市	39.1	38.5	38.2	39.8
刈谷市	37.0	36.9	37.8	38.4
安城市	39.4	38.9	39.2	40.0
知立市	36.0	36.5	37.3	38.0
高浜市	36.9	36.7	36.7	38.5
みよし市	40.7	39.3	38.9	40.9
愛知県	41.3	40.7	40.2	40.3

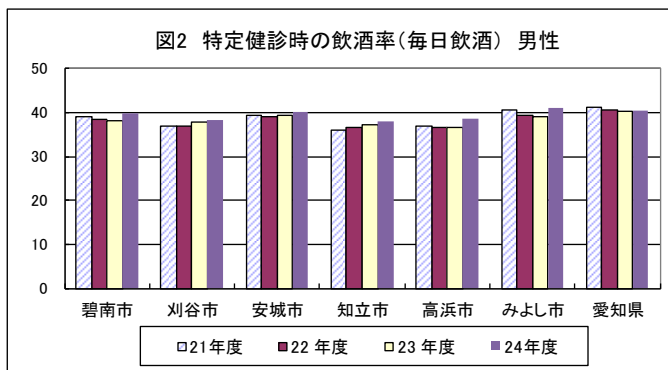


表4 特定健診時の飲酒率(毎日飲酒) 女性

	21年度	22年度	23年度	24年度 (%)
碧南市	7.3	7.2	8.1	8.0
刈谷市	7.0	7.8	8.3	9.1
安城市	7.3	7.7	8.2	8.6
知立市	6.5	7.2	7.9	7.9
高浜市	6.5	7.2	8.1	8.1
みよし市	9.3	9.1	9.3	11.1
愛知県	8.8	9.3	9.5	10.0

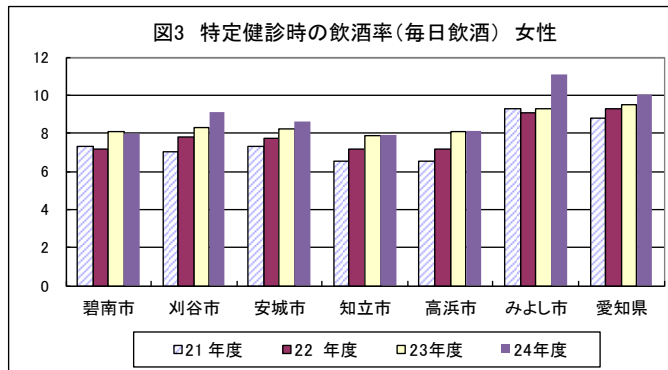


表5 特定健診時の多量飲酒率 男性

	21年度	22年度	23年度	24年度 (%)
碧南市	0.9	0.9	2.3	2.0
刈谷市	2.0	1.7	6.7	7.7
安城市	1.2	1.4	4.7	5.4
知立市	1.5	1.3	4.8	5.1
高浜市	1.5	1.6	7.1	8.7
みよし市	1.8	1.7	4.0	4.4
愛知県	2.0	2.0	2.1	2.2

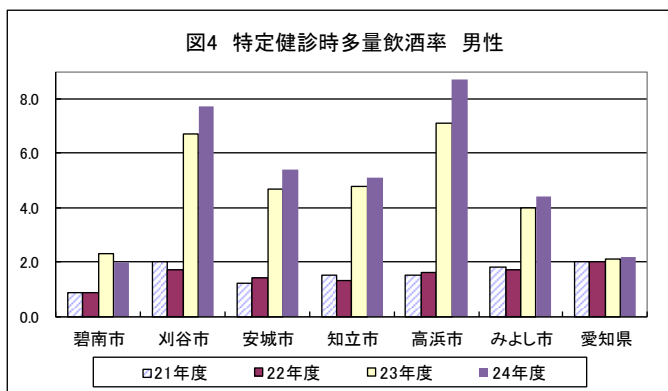
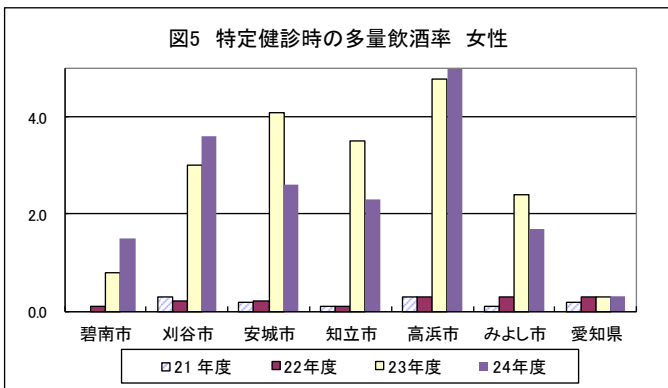


表6 特定健診時の多量飲酒率 女性

	21年度	22年度	23年度	24年度 (%)
碧南市	0	0.1	0.8	1.5
刈谷市	0.3	0.2	3.0	3.6
安城市	0.2	0.2	4.1	2.6
知立市	0.1	0.1	3.5	2.3
高浜市	0.3	0.3	4.8	5.0
みよし市	0.1	0.3	2.4	1.7
愛知県	0.2	0.3	0.3	0.3



※特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価（西三河南部医療圏）平成27年3月、特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価（西三河北部医療圏）平成27年3月 より抜粋

#### IV 実施内容と結果

##### 1 関係者との会議の開催

###### (1) 「自殺対策（アルコール健康障害対策）地域推進会議」の開催

関係機関のネットワークの推進を図るため、アルコール治療プログラム実施病院（以下、<sup>注1</sup>ARP病院）である刈谷病院の協力を得て、自殺対策（アルコール健康障害対策）地域推進会議（以下、推進会議）を2回開催した。

第1回推進会議では、支援機関からの事例報告や当事者の体験発表を通して、地域連携や早期治療の重要性について共通理解を深めた。第2回推進会議では、アルコール関連問題への早期介入の取り組みについて学び、各機関において「早期発見・早期対応」という視点で何ができるかを考える機会とした。

平成27年度は、高齢福祉関係者との連携を強化するため、各市の高齢福祉担当課に参加を依頼した。

###### 自殺対策（アルコール健康障害対策）地域推進会議 ( ) 保健所職員再掲

日時	内容	参加者
平成27年 10月7日(水) 午後2時から4時	1 平成27年度アルコール健康障害対策について (1) 啓発部会について (2) 事例検討会について 2 事例報告 ～支援機関・当事者の報告から地域連携を考える～ (1) 専門医療機関からの報告 (2) 当事者からの体験発表 (3) 保健所からの報告	31 機関 47 名 (8)
平成28年 2月10日(水) 午後1時30分から 3時30分	1 平成27年度アルコール健康障害対策について 2 講話「効果を上げる健診結果の使い方 アルコール健康障害への早期の介入」 講師 前四日市健診クリニック保健師 中根かおる氏 3 平成28年度アルコール健康障害対策について	33 機関 51 名 (10)

対象機関：精神科病院（刈谷病院、矢作川病院、南豊田病院、豊田西病院、仁大病院、衣ヶ原病院）・2次3次救急病院（刈谷豊田総合病院、安城更生病院、碧南市民病院、八千代病院、みよし市民病院）・医師会（碧南市医師会、刈谷医師会、安城市医師会）・消防署（衣浦東部広域連合消防局、尾三消防本部）・警察署（碧南警察、刈谷警察、安城警察、豊田警察）・断酒会（刈谷断酒会、安城断酒会、西尾断酒会）・地域包括支援センター（6市11か所）・保健センター（6市）・障害福祉担当課（6市）・衣浦東部保健所

注1 Addiction Rehabilitation Program  
アルコール治療プログラム

## ＜会議参加者へのアンケート調査＞

推進会議に参加した構成員を対象に、アンケート調査を実施した。

時 期：平成 28 年 2 月 10 日（水）（第 2 回会議終了後に実施）

回答者：34 人（回答率 82.9%）

調査結果は、次のとおりであった。

### （1）講話「効果を上げる健診結果の使い方～アルコール健康障害への早期介入」の内容について

「よかった」と回答した人が 25 人（73.5%）、「まあまあよかった」と回答した人が 9 人（26.5%）で「あまりよくなかった」「よくなかった」と回答した人はいなかった。

- ・アルコール依存症について深刻に捉えてしまうことが多かったが、今日の話聞いて気分的に楽になった。（地域包括支援センター）
- ・今後の保健指導に役立つと思う。（保健センター）
- ・治療導入のきっかけづくりのバリエーションが増えた。（精神科病院）
- ・健診結果を伝えるだけで結果が改善したという内容は興味深かった。（救急病院）

### （2）早期介入という視点で今後取り組みそうなこと

「ある」と回答した人は 29 人（85.3%）で、そのうち、取組内容を記載した人は、27 人（65.8%）であった。

早期介入としての今後の取組は、以下が挙げられた。

### アルコール健康障害対策としての今後の取組（自由記載）

機関名	取組内容
ARP 病院	・地域への取組の発信 ・相談対応
精神科病院	・専門病院へつなぐ
救急病院	・パンフレットを渡す ・事例検討に参加し意識をもっておく ・各診療科医師への啓蒙と MSW との連携強化
クリニック	・普段の問診で取組
地域包括支援センター	・相談への対応 ・啓発ちらしの利用
保健センター	・健診結果を活用した啓発 ・健診事後相談
警察・消防	・広報、啓発



## (2) ARP病院との事務局会議の開催

当地域においてARP病院と保健所で、推進会議及び事例検討会開催に向けた事務局会議を7回開催した。

また、会議以外にも研修会の講師や啓発ちらしの内容検討、事例検討会等を通して協力関係が深まった。

### 会議開催に向けた事務局会議

日時	内容	参加者
平成27年 5月20日(火) 午後2時から3時	・第1回、第2回事例検討会の進め方について	5名
平成27年 10月1日(木) 午後4時から4時50分	・第1回推進会議の進め方について ・啓発ちらしの内容について	5名
平成27年 10月7日(水) 午後4時50分から5時10分	・第1回推進会議の振り返り ・第2回推進会議の内容検討	8名
平成27年 12月25日(金) 午前10時30分から11時	・第3回事例検討会の進め方について	3名
平成28年 1月6日(水) 午後4時10分から4時30分	・第4回事例検討会の進め方について	6名
平成28年 2月3日(水) 午前11時40分から0時15分	・第2回推進会議の進め方について ・次年度の事業計画について	5名
平成28年 2月10日(水) 午後4時から4時30分	・第2回推進会議の振り返り ・今後の事業方針について	12名

## 2 困難事例検討会の開催

「アルコール関連問題連絡票（P15、資料2）」を活用し、困難事例の対応について検討するとともに、アルコール関連問題及び地域連携の必要性への理解を深めるため、事例検討会を4回開催した。

事例に関わる機関や地域の関係機関に参加を依頼した。介入ツールの具体的な使用方法について事例を通して学び、日頃どのように対応しているか情報交換を行った。

### 事例検討会

日時 会場	内容	参加機関
平成 27 年 5 月 29 日 (水)  A 救急病院	1 飲酒して救急車を呼び、頻回受診を繰り返す人への対応 2 病院の介入により断酒にながったケースについて	ARP 病院 (医師、PSW)、A 救急病院 (医師、事務、看護師、MSW)、消防署、B 市役所 (障害福祉担当課、保健センター、生活保護担当課)、C 市役所 (障害福祉担当課、保健センター) C 市社会福祉協議会 (居宅介護事業所、地域包括支援センター)、C 市在宅介護支援センター、保健所 <u>計 18 名</u>
平成 27 年 6 月 3 日 (水)  保健所	飲酒をして暴言・暴力のある方への対応について	ARP 病院 (医師、PSW)、D 市 (障害福祉担当課、保健センター)、D 市社会福祉協議会 (生活困窮者窓口担当)、児童相談センター、D 市保健センター実習生、保健所 <u>計 14 名</u>
平成 28 年 1 月 6 日 (水)  E 市役所	夫婦共に多量飲酒習慣があり、問題意識の薄い事例への対応について	ARP 病院 (医師、PSW)、E 市 (高齢福祉担当課、保健センター)、E 市地域包括支援センター (看護師、社会福祉士)、E 市社会福祉協議会 (管理栄養士)、保健所 <u>計 11 名</u>
平成 28 年 2 月 3 日 (水)  保健所	健康に障害が出ているが、酒量をコントロールできない方への対応について	ARP 病院 (医師、PSW)、F 救急病院 (MSW)、G 市保健センター、H 地域包括支援センター (社会福祉士、看護師)、I 地域包括支援センター (保健師、社会福祉士) 保健所 <u>計 12 名</u>  オブザーバー参加 12 名

注) ARP 病院：アルコール治療プログラム実施病院

### 3 相談技術研修会の開催

アルコール問題の相談対応をする保健機関、障害福祉担当課、相談支援事業所、地域包括支援センター、精神科病院のPSW、2次及び3次救急病院のMSW等の関係者を対象に演習を交えた研修会を開催した。

#### 相談技術研修会

日時	内容	参加者
平成 28 年 1 月 22 日 (金) 午後 2 時から 4 時	講演：「相談窓口担当者のためのアルコール健康障害への対応」 演習： AUDIT-C、SBIRT(エスバート) 講師：菅沼直樹 氏	35 名

注) AUDIT-C：基礎的な飲酒スクリーニング検査の一種。AUDITの最初の3項目。

注) SBIRT(エスバート)：Screening, Brief Intervention, Referral to Treatment(アルコール患者のスクリーニング、介入、専門医療機関への紹介に関する技法)。短時間での効果的な介入方法として一般の保健・医療機関での活用が可能。

### 4 啓発作業部会の開催

地域住民のアルコール関連問題への関心と理解を深め、適正飲酒の周知を図ることを目的に、3回開催した。各市保健センターの自殺予防担当者とともに啓発の方法について検討をし、啓発チラシ(P16、資料3)を作成した。

#### 啓発作業部会

日時	内容	参加者
平成 27 年 6 月 23 日 (火) 午後 2 時から 4 時	・各市アルコール対策の取組について ・啓発作業部会での取組について	9 名
平成 27 年 9 月 4 日 (金) 午後 2 時から 3 時 30 分	・啓発資料の内容について	9 名
平成 27 年 12 月 16 日 (水) 午前 10 時から 11 時 30 分	・啓発資料の内容について	10 名

## 5 普及啓発

予防の観点から、アルコール関連問題に関する知識を広めるため普及啓発活動を行った。アルコール関連問題啓発週間に合わせて、労働基準協会報（P17、資料4）や市の広報誌に、適正飲酒やアルコール依存症に関する記事の掲載や、管内の大学に出向いて健康教育を実施した。

### 啓発活動

対象	時期	方法	配布数
市民	H27. 11. 1	各市の広報誌にアルコール関連問題啓発週間に関する記事を掲載	各戸配付
労働基準協会会員	H27. 11. 1	刈谷労働協会発行の協会報に啓発記事を掲載	1,200部
東海学園大学学生	H27. 12. 22	「大学生のためのアルコール・ハンドブック」を配布し、アルコールに関する健康教育を実施	40名
愛知教育大学学生	H27. 12. 13	「こころの健康について」をテーマにアルコールに関する知識を含めた健康教育を実施	80名

## 6 取り組みの発信

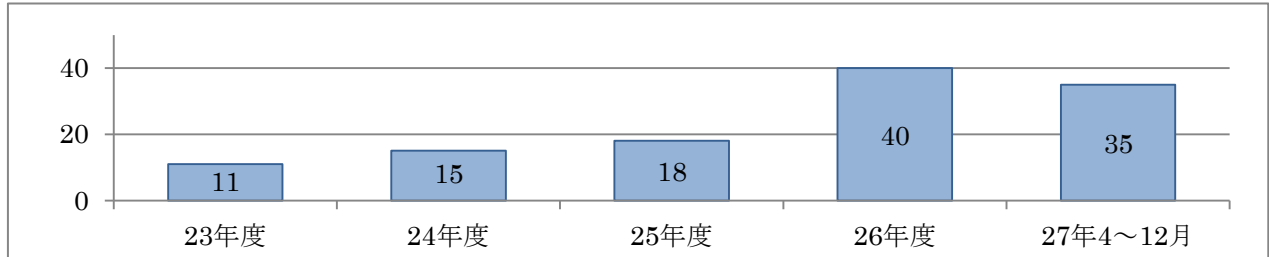
当保健所管内のアルコール地域連携における取組を様々な機会でも報告した。

日程	名称	場所
平成27年11月15日	アルコール関連問題啓発フォーラム in 愛知	名古屋市中区役所ホール
平成28年1月15日	愛知県公衆衛生研究会	あいち健康プラザ
平成28年2月28日	全国精神保健福祉業務研修会 in 愛知	刈谷市総合文化センター

## 7 相談対応状況

保健所でのアルコール相談対応状況は下記のとおりで、実件数は、年々増加傾向である。

### 1. アルコール事例 相談対応実件数

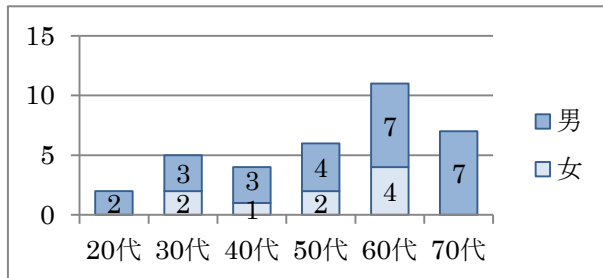


平成27年4月から12月に相談を受けた35事例について分析をした。

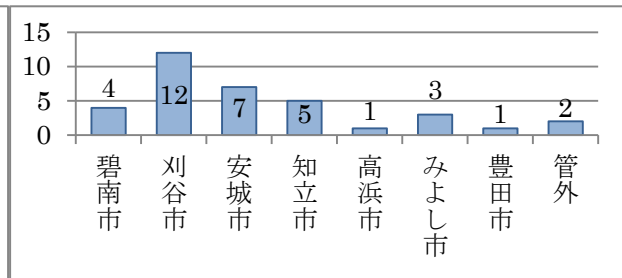
事例の7割以上は男性で、半数が60歳以上であった。把握経路は、家族からが11件と最も多く、地域包括支援センター、警察、ケアマネジャーが続いた。暴言や暴力に困っての相談が多かった。関係者との支援により、約3割に断酒、節酒する等の改善が見られた。

### 2. 平成27年4月～12月のアルコール相談対応事例の状況（実件数 35件）

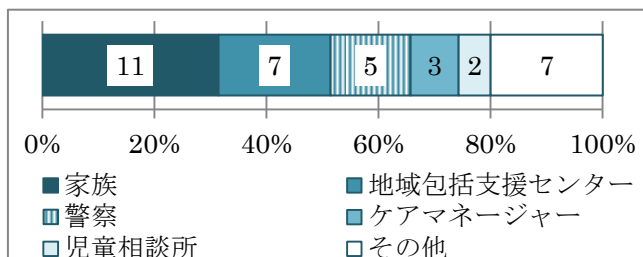
#### 年齢性別



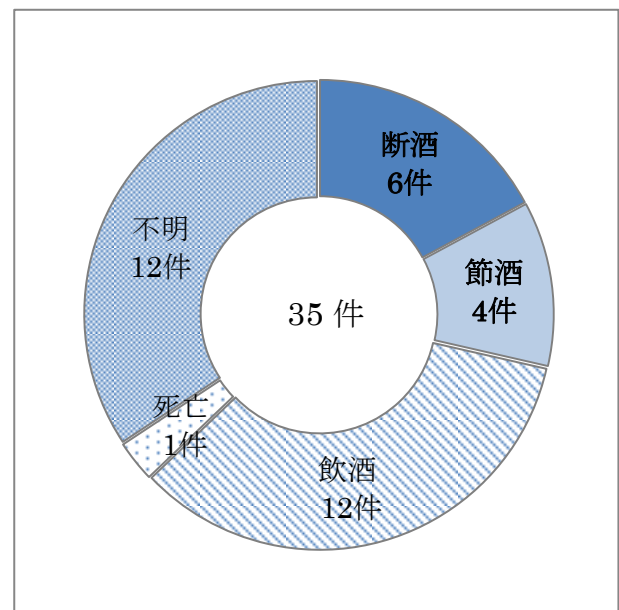
#### 住所地



#### 把握経路



#### 対応結果



#### 困りごと（複数回答）

・暴言	13件 (37.1%)
・暴力	10件 (28.6%)
・受診拒否	7件 (20.0%)
・物忘れ	3件 (8.6%)
・飲酒運転	2件 (5.7%)
・食欲低下	2件 (5.7%)

## V 成果

- 1 推進会議では、関係機関と地域の問題について共有すること、関係者で顔の見える関係を築くことができた。(P13 資料1)
- 2 事例検討会では、事例を通して介入ツールの具体的な使用方法を周知できた。参加者からは「今後の関わりの参考にしたい」「担当者だけでは見えなかった視点に気付くことができ、今後の関わりについて前向きに考えることができた」といった意見が聞かれた。また、検討した5事例すべてが節酒や断酒、専門医療機関・相談機関につながる等、改善が見られた。また、4回目はオブザーバー参加を募り、参加者から参考になったとの評価を得た。
- 3 相談技術研修会では、参加者から「実践の現場で使える内容であったため、明日からの業務でも使っていける」「アルコールを飲んでいる人の問題へ対応する具体的な手法が学べてよかった」等、相談対応について前向きな意見が聞かれた。
- 4 啓発作業部会では、各市とともにアルコール健康障害の啓発方法を検討することができた。当初は、各市が保健所の取り組みに参加している印象があったが、回を重ねていく中で、各市が各市の取り組みの中で啓発活動を考えるようになった。また、一般住民を対象としたチラシを作成することができた。
- 5 当保健所におけるアルコール相談件数は増加した。関係者が共に関わることで問題の改善したケースがあった。

## VI 課題及び方向性

アルコール依存症に至ってからの治療や回復には、多くの労力を要するため、飲酒に伴うリスクやアルコール依存症についての正しい知識の普及、及び、早期に介入し治療を進める体制整備に向けた取り組みを強化することが必要である。

住民一人一人が必要な注意を払うことができ、必要な人が早期に医療につながるような地域づくりに取り組むこととともに、アルコール関連問題対策において、関係機関と共に地域の課題を共有し、アルコール関連問題への対応力向上及び連携強化を図ることは重要である。

今後もアルコール関連問題の取り組みを継続しながら、構築したネットワークをアルコール関連問題に関わらず、様々な支援に活かしていきたい。

- 1 関係機関と地域の問題について共有し、アルコール関連問題への対応力向上や連携強化を図るために、推進会議、事例検討会及び研修会を今後も継続して開催していく。
- 2 地域住民がアルコール関連問題についての知識を深めるために、知識の普及と啓発を進める。また、より早く適切な支援につながるよう相談窓口の周知を図る。
- 3 一般医療機関のアルコール関連問題への理解の促進を図ることで早期発見・早期治療を進められるよう、かかりつけ医に対する研修や啓発を行う。
- 4 既存の事例検討会において、アルコール問題のある自殺未遂者事例を検討することで、自殺未遂者対策のネットワークを広げていく。

## おわりに

当保健所の取り組みは、国で開催されたアルコール健康障害対策関係者会議の意見交換で参考人として報告をさせていただきました。また、アルコール健康障害対策の先取りした取り組み、連携モデルとして紹介してほしいと依頼を受け、新聞記事や雑誌に掲載されました。(P18 から P21 資料5 から資料7)

今後もこの地域ネットワークを活かしさらに強化するとともに、アルコール関連問題で悩む本人や家族の方に健やかな生活が戻るよう支援していきたい。